

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 静岡サレジオ小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒424-8624
静岡市清水区中之郷 3-2-1

E-mail : prim@ssalesio.ac.jp

Website : http://www.ssalesio.ac.jp/primary/

児童生徒数：男子 152名 女子 201名 合計 353名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

5年生は平成26年7月15日から17日にかけて、山梨県にある「なかとみ青少年自然の里」でEnglish Campを行った。曲がりくねった山道を登り、バスから降りて畑や民家の間を10分ほど歩いたところに、この施設はある。動物よけの電線が張られた畑や、本物の囲炉裏がある部屋など普段では見られないものもたくさんあった。このEnglish Campは、オーストラリアでの修学旅行を見据えた日常英会話の練習を目的とした様々なアクティビティーが用意されたCampだが、自然と親しみ、仲間と共に日本文化の体験をすることも大切な目的のひとつだった。

最初の活動は、写真から施設内に隠されたアルファベットを探し、英語の単語にするフォトオリエンテーリング。写真を手がかりに、初めて来た施設の中をバスの疲れや日照りをものともせず探索した。

一日目の夜はキャンプファイヤー。English Campなので、ただのキャンプファイヤーではない。司会進行も英語で行い、英語の歌を歌ったり、英語で怖い話を聞いたりなど、真っ暗になるのも忘れて楽しんだ。また、フォークダンス後にはマシュマロをビスケットに挟んで、夜のおやつも頂いた。

日本の文化体験では和紙づくりと草木染めを体験した。和紙づくりでは紙漉をして、その上に色水や落ち葉を使って模様を作る。はがきと色紙の二種類を作った。草木染めでは茜の根を使って白いハンカチを染めた。同じ茜の根を使っているのに、媒染液の違いで色の雰囲気が変わることや絞り方で模様が変わることを実際に体験しながら知ることができた。

二日目の昼食はグループで協力して“おざら”を麺から作って食べた。一年前、山梨県の山中湖での林間学校でつくった“ほうとう”と同じ郷土料理だが、“おざら”は冷たい麺を温かいつゆにつけて食べるものだ。麺の太さがちがう、ということなどを教わりながら、揚げたての天ぷらと一緒に頂いた。

英語の活動の中でも大変盛り上がったのは、英語の寸劇“Let's enjoy Drama”。グループに分かれて日本の昔話を自由に英語で表現した。短い時間の中で各グループ試行錯誤しながらひとつのものを作り上げ、ネイティブの先生達が審査員となって発表会を行った。

最終日の“English Activity”は最後の活動だ。オーストラリアでのホームステイを想定したいくつかのシチュエーションを元に、グループでブースを回り、家族紹介や外国のお金での買い物体験、クリケットの試合などを行った。この頃にはすっかりネイティブの先生方に慣れて、一生懸命英語で伝えようとしていたり、親しげに活動したりしている姿が見られた。

天候にも恵まれて暑い日が続いたのだが、自然・日本文化・英語にどっぷりつかりながら、活動を通して友だちとの友情や協力を深めた、楽しい三日間だった。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）